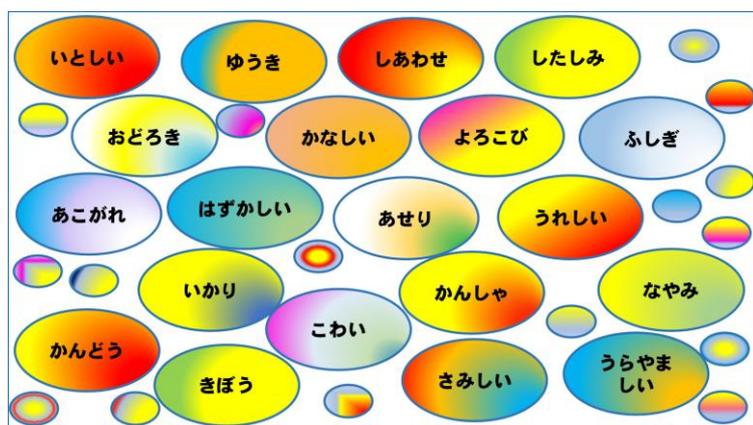


## 自分の気持ち、人の気持ち～ヤバいとエグい～

校長 飯塚 進

「ヤバい」とか「エグい」という言葉があります。元々の意味はしっかり調べる必要がありますが、通常、「ヤバい」は、「危険」「焦る」のようによくない場面で使います。一方で、「最高」とか「カッコいい」というようなよい場面で使うこともあります。同じように「エグい」も、「ひどい」「ありえない」など、よくない場面で使うこともあれば、「すごい」「カッコよすぎる」のようなよい場面で使うこともあるようです。

多様な気持ちでありながら、たった一言で表すこれらの言葉は便利なような気もします。ところが、最近の調査で気になることを聞きました。それは、自分の気持ちが分からない、うまく表現できない、人の気持ちが想像できないという若者が増えてきているということです。また、少し怖い話になりますが、犯罪をしてしまう若者の中に、自分の気持ちを言語化できない人が相当数いるとのことなのです。それは、気持ちを受け止めてくれる人がいなかったことが一因とも言われています。子どもが安心して自分の気持ちを言えるという環境が大切だということです。家庭や学校など、子どもの周りにいる人が、子どもの気持ちを受け止めることを、一層留意する必要があるのかもしれません。



人の気持ちというのは多種多様であり、また、それを表す言葉も図のようにたくさんあります。子どもたちには、今の自分の気持ちを言える人、友達などの周りの人の気持ちが分かる人になってほしいと思います。

「ヤバい」とか「エグい」と言った時、もう少し詳しく、どんな気持ちなのか、時には考えてほしいと思っています。